

平成 22 年 3 月 1 日

各 位

会 社 名 スリープログループ株式会社
本社所在地 東京都新宿区西新宿七丁目 21 番 3 号
代 表 者 代表取締役 高野 研
(コード番号 2375 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執行役員社長室長 佐々木 隆宏
(T E L 03 - 6832 - 3260)

株式会社アビバの株式譲渡に向けた基本合意書締結に関するお知らせ

スリープログループ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：高野 研、以下「スリープロ」）は、株式会社ベネッセホールディングス（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：福島 保、以下「ベネッセ」）と、ベネッセが保有する株式会社アビバ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：田中 良一、以下「アビバ」）の全株式の譲渡を、本年 3 月末を目処に実施する旨の基本合意書を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

ベネッセとスリープロは、今回の基本合意書に基づき引き続き協議を進め、本年 3 月末を目処に株式譲渡契約書を締結し、本株式譲渡を行う予定です。本株式譲渡により、アビバは当社の連結子会社になる予定です。なお、正式に株式譲渡契約書の締結が行われましたら、改めてお知らせいたします。

また当社グループは、これによってアビバを中心とする教育支援事業を今春より本格展開いたします。

記

1. 株式取得の理由

スリープロは『市場創造サポーター』として、さまざまな商品・サービスを提供する企業と、それを活用する企業・一般ユーザーを対象として日本全国のビジネスシーンに対応した高付加価値なサービスを 95,000 人のエージェントを通して提供しております。平成 18 年からは、教育産業との連携を推進しており、就労希望者の就職・転職・キャリアアップの支援のため、スキルアップを実現する学習機会創出を行ってきました。

アビバは全国的に知名度の高いタレントを活用した TV コマーシャルなどで広く認知されているパソコン教室の圧倒的な大手であります。スキルと資格の双方で就労希望者の就職・キャリアアップの実現をサポートしてきた実績があります。

このように両社の戦略と方針は同一の方向を示しており、平成 21 年 12 月 10 日の当社開示にもございますとおり、両社は「大栄アビバ校」の展開など、積極的な業務提携を実現して参りました。

そして今回、ベネッセよりアビバの全株式を平成 22 年 3 月末を目処に取得する基本合意書を締結いたしました。これによって、当社グループにおいてアビバを中心とする教育支援事業を展開し「キャリア教育ネットワーク」の構築を推進することが最大の付加価値を生み出す施策であると確信しております。

「キャリア教育ネットワーク」構想イメージ図



「キャリア教育ネットワーク」では、スリープロのIT支援サービス事業による高付加価値人材サービスと、アビバのキャリアアップを支援する教育コンテンツの開発力・提供力との融合を行います。キャリアデザイン・雇用支援を実現する『雇用創造サポーター』として、すべての世代・ライフスタイルに合わせたサービス提供をパソコン教室として、日本最大となる全国550カ所を超える拠点網を通じて行って参ります。今後の展開としては、教育業界各社との連携やビジネス支援により、新たな市場創造を推進して参ります。既存のパソコン教室事業の枠組に捉われず、教育機関と積極的に連携し資格学習コンテンツや専門技術者の育成など様々な世代に向けて生涯学習サービスを提供して参ります。

2. 社会的背景、およびこれまでの経緯

一昨年からの急激な景気悪化が、雇用にも深刻な影響をもたらしています。平成21年12月の完全失業率は5.1%（注1）と過去最悪の水準で推移しております。政府の取り組みとしては、未来の成長分野として期待される介護・農林等の分野や『新しい公共』をはじめとして、NPO・社会的企業が参加した地域社会を含めた大規模な雇用創造へ向けた方針が発表されております（注2）。一方で人材サービス業界への規制強化として労働者派遣法改正案の検討が想定されております。

スリープロは従来から優秀な人材を集めて黒子としてサービスを提供して参りました。現在の社会的背景下においても競争に勝ち抜き、売上を維持・拡大していくためには、さらに一歩進め教育を行い優秀な人材を育てた上で雇用を創出するモデルの強化が重要であると考えております。そのためには、教育産業との広域に渡る連携が有益であると確信しております。

これまでの教育・学習支援事業への取り組みとしては、平成18年6月、全国に約200教室を展開する日本最大のシニア向けパソコンスクール「ホームコンじゅく」のグループ化から始まりました。平成21年1月には、西日本を中心に教育事業を展開する大栄総合教育システム社と業務提携を実施して参りました。さらに教育事業における連携は強まり、平成21年12月にはアビバ社とも業務提携を行い、より効果的な資格取得支援の提供を「大栄アビバ」ブランドを3社間連携により展開するまでに発展いたしました。

【関連情報】

スリープログループとアビバは共同で全国へ資格取得スクールを展開

<http://www.threepro.co.jp/ir/news/news091210.html>

スリープログループが『資格取得支援スクール』を全国4拠点にて新規開校

<http://www.threepro.co.jp/ir/news/news090601.html>

スリープログループと大栄総合教育システムはキャリアデザインセンターを開設

<http://www.threepro.co.jp/ir/news/news090123.html>

株式会社ホーム・コンピューティング・ネットワークの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

http://www.threepro.co.jp/ir/files/threepro060628_2.pdf

（注1）平成22年1月総務省統計局発表 労働力調査より抜粋

（注2）首相官邸 緊急雇用対策本部発表 緊急雇用対策概要、『新しい公共』円卓会議 web ページより抜粋

3. 株式会社アビバの概要

(1)	商号	株式会社アビバ		
(2)	住所	名古屋市中区丸の内一丁目10番29号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田中 良一		
(4)	資本金	2億5千万円（株ベネッセホールディングス 100%出資）		
(5)	事業内容	パソコン教室「アビバ」の運営		
(6)	設立年月日	平成13年10月25日		
(7)	上場会社と対象会社の関係			
	資本関係	該当事項はございません。		
	人的関係	対象会社の代表取締役社長の田中良一は、当社の社外取締役であります。		
	取引関係	平成21年12月10日にお知らせいたしました通り、現在、当社とアビバは共同で資格取得スクールの展開を行っております。		
(8)	直近3年間の業績	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
	売上高	10,333百万円	9,693百万円	8,168百万円
	営業利益	1,177百万円	665百万円	247百万円

なお、平成21年3月期において、ベネッセからアビバに対し、4,180百万円の貸付金がありますが、本株式譲渡にあたっては、当該貸付金を含む譲渡時点におけるベネッセからアビバに対する貸付金の全額について債権放棄されることを前提として交渉しております。

4. 株式譲渡元の概要

(1) 商号	株式会社ベネッセホールディングス		
(2) 住所	岡山市北区南方三丁目7番17号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 福島 保		
(4) 資本金	136億円		
(5) 事業内容	教育事業（通信教育『進研ゼミ』、模擬試験『進研模試』、モバイル学習等）語学事業、シニア事業、生活事業、海外事業、その他		
(6) 設立年月日	昭和22年11月21日		
(7) 上場会社と対象会社の関係			
	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	取引関係	該当事項はございません。	
(8) 直近3年間の決算状況	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
連結売上高	354,595百万円	384,514百万円	412,711百万円
連結営業利益	31,316百万円	34,882百万円	39,125百万円
連結経常利益	33,279百万円	35,920百万円	39,276百万円
連結当期純利益	18,244百万円	15,462百万円	10,678百万円
総資産	349,098百万円	366,584百万円	343,128百万円
純資産	197,302百万円	202,342百万円	168,497百万円

5. 譲渡前後の株式所有比率の状況

- (1) 譲渡前の所有株式数 10,000株（所有割合 ベネッセ：100%、スリープロ：0%）
- (2) 譲受株式数 10,000株
- (3) 譲渡後の所有株式数 10,000株（所有割合 ベネッセ：0%、スリープロ：100%）

6. 日程

- 平成22年3月1日 基本合意書締結
- 平成22年3月30日（予定） 株式譲渡契約書締結

7. 株式譲渡価額及び譲受条件

株式譲渡価額及び譲渡条件については、現在未定でありますので、決定次第、改めてお知らせいたします。

8. 今後の見通し（業績に与える影響）

本件による連結業績への影響につきましては、確定次第必要に応じて公表いたします。

以上